

Q 4歳の娘がいます。叱られたときに、すぐに「だって…」と言い訳をしようとするので困っています。何かをこぼしたときは「だって、こぼれるんだもん」、持っているものを落としたりしたときは「だって、重いもん」と、注意するたびに言い訳をします。謝ったり、「はい」と言ったりできる素直な女の子になっしてほしいのですが…。

A 何かを言ったときに、「だって」という言葉が返ってきたら、言い訳ばかりしているように聞こえますよね。でも、本人にしてみれば、事情を一生懸命説明しているのだと思います。これは推測ですが、お子さんに注意をするとき、質問するような言い方で言っていますか？ 「どつしてこぼすの」「何してるの」といった言い方を大人はよくしますが、子供はその都度質問されたように思っています。そのため、「だって」という言葉が出てきやすくなります。

大人はその言葉の中に、「気を付けて持ちなさい」「こぼさないでね」という

## 叱ると言い訳ばかりする



原坂一郎の

子育て相談

意味を込めたつもりでも、子供はこぼした理由を聞かれたと思い、「だって重いんだもん」などと答えるのです。

子供に注意をするときは、「どうして…」「どこに…」といった質問形式の言い方を避け、その都度伝えたいことをストレートに言ってみてください。例えば子供が机に上がったときは、「どこに上がってる」「ではなく、「机に上がったため」「降りなさい」と、伝えたいことをそのまま言葉で言うのです。するとその通りになります。

子供は伝え方次第では、案外に素直に言うことを聞くものです。「だって」と言ったときも、「だってじゃないでしょ」などと言わず、まずは共感してやっから、「でもね…」と伝えたいことを続けると、お子さんの持つ素直さが顔を出してくると思います。

何かを言われるたびに事情や理由をちゃんと伝えるのは、たいしたものですよ。

(子どもコンサルタント)